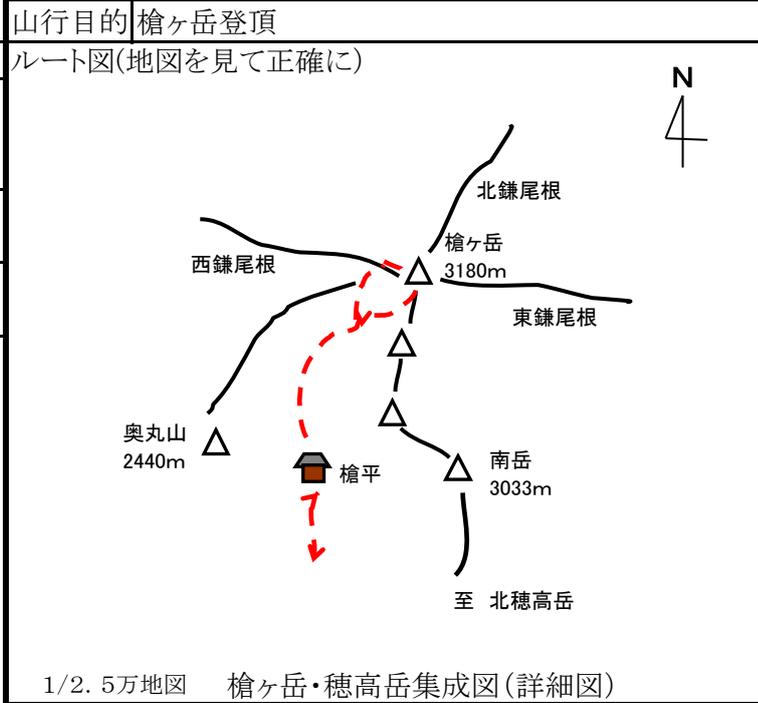


7月度 例会 個人 山行報告書		報告者;	渡辺勝利	参加 メンバー	CL; 渡辺勝利 渡辺育子 2名
山名	槍ヶ岳	報告日;	2010.8.03		
山域	北アルプス	山行日	2010.07.28~08.01 (前夜発2泊3日)		

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
参加者;	
PC又は 郵送にて	
原紙;	
会事務局	
HP作成;	
大矢	



コースタイム(日時・天候)	
7/29(曇り後雨)	前夜22:00豊田発 1:30~5:30道の駅「上宝」にて車中泊 6:30~6:40新穂高登山センター→7:40 ~8:05穂高平→8:50白出沢出合→ 10:40~50滝谷出合→11:55槍平 (槍平小屋泊)
7/30(曇り、ガスで視界悪し)	5:00~6:30槍平小屋→9:00飛騨沢分岐 →10:10千丈乗越→11:30槍ヶ岳肩(大休) 13:30槍ヶ岳アタック→14:00~10槍ヶ岳頂上 →14:30槍ヶ岳肩(槍ヶ岳山荘泊)
7/31(曇り、ガスで視界悪し)	4:00~6:20槍ヶ岳山荘→6:30飛騨乗越→ 7:20~30飛騨沢分岐→9:20~25槍平→ 10:10~40滝谷藤木レリーフ・避難小屋→ 12:00~25白出沢出合→14:00新穂高登山 センター着

<山行記録>

相棒にとっては初めての、私にとっては部の冬山合宿で北鎌尾根から登って以来、35年ぶりの槍ヶ岳頂上はガスに視界を遮られた白い世界であったが、ひととき感慨深いものであり、しばしの間、時を忘れて佇んでいた。

29日;前夜発で豊田を立ち、今回で3度目となる勝手知った道の駅「上宝」へは比較的スムーズに着くことができ、早速車中泊となる。4H程の仮眠後、新穂高へ向かう。途中から雨模様となり、どうやら今回の山行は雨に祟られそうである。27日から三叉蓮華に登山されている佐溝先輩達が恨めしくもあり、吾々に試練を与え給うた天の神に感謝しつつ、防雪トンネル内で深山荘への指導標に導かれ、無料駐車場に着く。平日で3段に分かれた駐車場にはかなりの空きスペースがあり、吾々は中断の絶好位置に駐車することができた。下山時の土曜日には全てが満車状態で路端にまでずらりと並んでいたことからすると、平日は随分と有利みたいである。早々に雨合羽、ザックカバー装着等の登山準備を済ませ、歩いて10程度の登山センターで入山届けを出し、いよいよ蒲田川右又林道に歩を進める。瀬音を聞きながら、穂高平、白出沢出合とゆっくりながら確実なペースを進んで行く。今日の相棒は初登頂の気合充分で、足の運びもかなり調子が良さそうだ。白出沢を渡ると本格的な登りとなる。うっそうとしたシラビソ林の中を黙々と登り、木々の間から、槍平小屋が見えた時はほっとした。小屋に着いて早速乾いた物に着替えようやく一息つく。こんな時の小屋泊まりは嬉しい。小屋は2階部分を今年改築したとかでとてもきれいだ。その上、今日は泊まり客が少なく、24人部屋を吾々2人が独占するという豪華版であった。

30日;今日も朝からガスが湧き視界もよくない中を出発。雨が落ちてこない上に陽射しが無いので暑熱対策の必要がない登り日和ではある。今日は道端の花を愛でる余裕もあり、樹林帯の中ではキヌガサ草、紅花イチゴが樹林帯を抜け出たあたりから広がるお花畑に咲き乱れるシナノキンバイ、黒百合、リンドウ、コバイケイソウ等々に慰められながら、千丈乗越に出る。ここからは視界が開けると期待していたが、相変わらずガスが流れ、その上

<フリースペース>



ガスで展望ゼロの槍ヶ岳山頂

確認 (リーダー)	
渡 10/08/04 辺 (報告者)	

風も強い西鎌尾根を風に吹かれながら肩に至る。槍ヶ岳山荘で宿泊手続きを済ませた後、今日のうちに登頂しておこうと小屋を出る。相変わらずガスの中であるが、登降路は明確である。途中の岩場や鉄はしごを慎重に越して頂上に立つ。固い握手で互いの健闘を讃え合い、展望ゼロの山頂にしばらく佇んだ後下山。小屋は大混雑という混みようではなく、他の登山客とのたわいない会話で長時間を潰すという余裕の一日となった。

31日;夜半の風音はすさまじかった。明けても雨は落ちていないものの風は強く、安全を考え南岳経由を諦め、飛騨乗越から槍平~新穂高へ下山。下りとは言え、登りの2日分を1日で稼ぐとなるとさすがにこの歳では辛い。重い足取りで新穂高の登山センターに辿りつき、無事に登山終了。

<リーダー所見> 天候に恵まれなかったが、無事に登頂できたのが何より。下山後に宿泊した双六荘の鄙びた風情と掛け流し温泉がまた良かった。